

令和3年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校「新編現代文B」(東京書籍)						
副教材等	新訂国語図説五訂版(京都書房) 常用漢字ダブルクリア四訂版(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・2年生では社会人に必要となる基礎的な国語力と応用力を身につけます。
- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、意思を伝えるための「書く能力」を身につけます。
- ・筆者の考えや感じ方を理解し、自分の日常生活に置き換えて考えられるようになりましょう。
- ・毎回の授業を大切に、予習および復習をして取り組みましょう。
- ・提出物の期限は必ず守り、定期考査は計画を立てて臨みましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にあわせて適切な語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・日本語に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育てている。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、表現の仕方を工夫して話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて、文章の形態や語句を工夫することで、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の内容を的確に読み取ったり、人物、情景、心情などの表現に即して読み味わったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (ノート、ワークシートや、発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	言語活動	「近代以降」教材 「自分を漢字で表すと？」 (自分を漢字一字で表すとしたらどんな漢字がふさわしいかを考えて、自己紹介として発表し、話し方・聞き方を学ぶ。)	○	◎			○	a: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えてようとしている。 b: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている。 e: 話すこと、聞くことに必要な文の組み立てについて理解している。	abe 行動の観察と確認、記述の点検
	随筆	「近代以降」教材 「こそめスープ」 「さくらさくらさくら」	○			◎	○	a: 筆者独自の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろうとしている。 d: 筆者独自の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取り、人それぞれの感性について理解を深めている。 e: 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	評論1	「近代以降」教材 「生命とは何か」	○			◎	○	a: 論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議さについて考えようとしている。 d: 論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議さについて考えている。 e: 書くことに必要な文体について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

1 学 期	小説 1	「近代以降」教材 「みどりのゆび」 「ナイン」	○		○	◎	○	a : 主人公の心情を読み取り、人間と自然の生命のつながりについて考えを深めようとしている。 c : 主人公の心情を理解し、文体や語句などを適切な表現の仕方感想を書いている。 d : 主人公の心情を読み取り、人間と自然の生命のつながりについて考えを深めている。 e : 漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	ac 行動の観察と記述の点検 cde 記述の確認と定期考査
	暑中見舞いの制作	「近代以降」教材 「暑中見舞いを書こう」 (暑中見舞いの書き方のきまりを理解し、友人や教員に向けて制作することを通して、相手や目的に応じた書き方を学ぶ。)	○		◎		○	a : 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。 c : 相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書いている。 e : 語句の意味や用法、および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	ace 行動の観察、記述の点検
	詩	「近代以降」教材 「一つのメルヘン」 「I was born」 「ふうふう紙を…」	○	◎		○	○	a : 幻想的なイメージを味わい、そこに託された作者の心情について考えようとしている。 b : 声を出し、想像力を働かせて詩を味わっている。 d : 幻想的なイメージを味わい、そこに託された作者の心情について考えている。 e : 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

2 学 期	言語活動	「近代以降」教材 「自分の好きなものを語る」 (自分の好きな本や音楽などを紹介する文章を書き、その原稿をもとにスピーチをする)	○	◎	○	a:話す内容について幅広く調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料を集め、紹介する内容を調べている。 e:話すこと聞くことに必要な語句や文体の違いによる特色について理解している。	abe 行動の観察と記述の点検	
	評論2	「近代以降」教材 教材 「「ふしぎ」ということ」	○		◎	○	a:挙げられている話題を関連付けて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めようとしている。 d:挙げられている話題を関連付けて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めている。 e:抽象的な語句に慣れ、特に対比的に使われている語句に注目できている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
	小説2	「近代以降」教材 教材 「山椒魚」 「旅する本」	○		◎	○	a:小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係とその心情を読み取るようとしている。また、登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考えようとしている。 d:小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係とその心情を読み取っている。また、登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考えている。 e:文体や文章の形態の特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査

2 学 期	短 歌	「近代以降」教材 信濃路【短歌】	○		◎	○	<p>a:短歌独特のリズムを味わい、表現に即して、作品に込められた作者の心情を読み取ろうとしている。</p> <p>d:短歌独特のリズムを味わい、表現に即して、作品に込められた作者の心情を読み取っている。</p> <p>e:文章の形態の特色について理解している。</p>	<p>ab 行動の観察と記述の点検</p> <p>de 記述の確認と分析と定期考査</p>
	年 賀 状 の 制 作	「近代以降」教材 「年賀状を書こう」 (年賀状の書き方のきまりを理解し、友人や教員に向けて制作することを通して、相手や目的に応じた書き方を学ぶ。)	○		◎	○	<p>a:相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書こうとしている。</p> <p>c:相手や目的に応じて題材を選び、文体や語句などを工夫して書いている。</p> <p>e:語句の意味や用法、および表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>ace 行動の観察、記述の点検</p>

3 学期	評 論 3	「近代以降」教材 「思考の肺活量」 「安心について」	○		◎	○	a: 比喩表現に注意して内容を 読み取り、思考のあるべき姿 について理解を深めよう。 d: 比喩表現に注意して内容を 読み取り、思考のあるべき姿 について理解を深めよう。 e: 正しく理解し、使いこな せる言葉の数を増やしている	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査
	小 説 3	近代以降 教材 「山月記」	○		◎	○	a: 人間関係における人物の 心情を的確に把握して、人の 心のありようについて考えを 深めようとしている。 d: 人間関係における人物の 心情を的確に把握して、人の 心のありようについて考えを 深めている。 e: 文章の形態や特色について 理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査

※ 表中の観点について

a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。